

この度は、純正キーレス連動アンサーバック・セキュリティをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。(純正キーレスだけではなく、外品のキーレスとも接続できます。)

#### 基本キット製品構成

- ・コントローラー 1個
- ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット
- ・スターターカトリレー 1個
- ・ボンネットピンスイッチ 1個
- ・セキュリティオフスイッチ 1個
- ・センサー用専用ハーネス 2セット
- ・スキャナブルーLED(絶対にLED点灯チェックはしないで下さい。) 1セット
- ・ハザード接続モジュール 1セット

#### 配線方法

コントローラーケーブル線色	説明と主な接続先
赤	+12V常時へ接続。(12V専用で24Vでは使用できません。)
橙	ACC電源に接続。
黒	ボディアースへ接続。
黄	サイレンの赤線へ接続。
緑	ハザード接続モジュールの1本側へ接続。
青	車両のロック出力線へ接続。(当社のキーレスの緑/白線)
紫	車両のアンロック出力線へ接続。(当社のキーレスの緑線)
灰	ベンツタイプの場合、ロック・アンロック共通線へ接続。
白	スキャナの黒線へ接続。
茶	スターターカトリレーのコイル側へ接続。 別売走査型スキャナのマイナス線へ接続。スキャナのプラス側は常時12Vへ。
赤/白	ドアトリガー線へ接続。付属のボンネットピンスイッチの片方へ接続。
橙/白	サンキューウinker(注)用プッシュスイッチの片方へ接続。
白/黒	セキュリティオフスイッチの片方へ接続。
白/黄	セキュリティオフスイッチのもう片方へ接続。
注意事項	印の線は接続しなくてもかまいません。 接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。 結線図は裏面をご覧ください。 (注)サンキューウinker：スイッチを1回押すだけでウinkerが3回点滅します。 別売のボイスモジュールと接続する場合はダイオードがないと破損します。

基板内ジャンパー設定について。(ジャンパー設定をするときは、基板の回路をショートしないようにしてください)

- JP1:ロック・アンロックしたときにハザード出力させたくない場合、オープンにして下さい。
- JP2:ロック・アンロックしたときにサウンド出力させたくない場合、オープンして下さい。
- JP3:アンサーバック時の音と音の間隔を長めにしたい場合は、オープンして下さい。
- JP4:アンサーバック時のハザードの出力パターンを変えたい場合は、オープンして下さい。オープンで使用した場合、アンロックしたとき3回目のハザードランプが10秒間点灯します。途中でドアを開けるとランプは消灯します。(ドアトリガー線を接続している場合)
- JP5:学習が終了したら、必ずオープンにしてください。再学習させる場合は、ショートして電源を入れ直してください。
- JP6:付属のスキャナLEDを接続する場合は、必ずオープンにしてください。(出荷時はオープンになっています。)外品の抵抗付きLEDに接続する場合は、ショートして下さい。

## 取扱説明書

### 1. セットアップ方法

- (1)配線が終わったら、専用ハーネス14ピンのコネクタとセンサー用コネクタを接続してください。
- (2)キュ！音が鳴り、内部のコンピューターが車の状態の学習を開始します。
- (3)車のドアを閉め、アンロックの状態、再びキュ！音が鳴るまでお待ち下さい。これで学習が終了し、準備は完了です。コントローラーの設定蓋を開けて、JP5をオープンにしてください。

### 2. 操作方法

ロック・アンロックボタンが共通タイプ(ボタンがひとつ)の場合またはロック中はロック信号が出ない場合

- (1)ロックボタンを押してください。
- (2)キュ！キュ！と鳴り、約5秒後に監視が始まり、スキャナが点滅を始めます。
- (3)センサーが異常を検知すると音とハザードで警告または警報を行います。詳細は後述。
- (4)ロック状態でボタンを押すとキュ！キュ！キュ！と鳴り、監視を解除します。
- (5)ロックしたときにセキュリティを無効にしたい場合は、セキュリティオフスイッチで無効にします。

ロック・アンロックボタンが別々タイプ(ボタンがふたつ)の場合

- (1)ロックボタンを押してください。
- (2)キュ！キュ！と鳴り、約5秒後に監視が始まり、スキャナが点滅を始めます。
- (3)もう一度ロックボタンを押すとキュ！と鳴り、監視を解除し、スキャナが消灯します。(鍵はロックのままです。)
- (4)その状態で再びロックボタンを押すとキュ！キュ！と鳴り約5秒後に監視が始まります。
- (5)センサーが異常やドア開を検知すると音とハザードで警告または警報を行います。詳細は後述。
- (6)アンロックボタンを押すとキュ！キュ！キュ！と鳴り、監視を解除します。
- (7)車がロック状態の時ロックボタンが無効な車の場合、ロックしたときにセキュリティを無効にしたい場合は、セキュリティオフスイッチで無効にします。  
監視中に軽度の異常があった場合は、音が4回鳴り、重度の異常があった場合は、5回音が鳴ります。

### 3. 警告と警報の仕様について

- (1)軽度の異常を検知するとキュ・キュと2回警告音が鳴ります。それから約15秒以内に再度検知した場合、4回警告音が鳴ります。同様に6回、8回と警告音が鳴りますが、次に感知した場合は、約15秒間サイレンが鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。警告してから15秒間何も検知しなかった場合、次の警告は2回から始まります。
- (2)重度の異常を検知するサイレンが30秒鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。
- (3)警報を途中で解除する場合は、ロック・アンロックいずれかのボタンを押します。

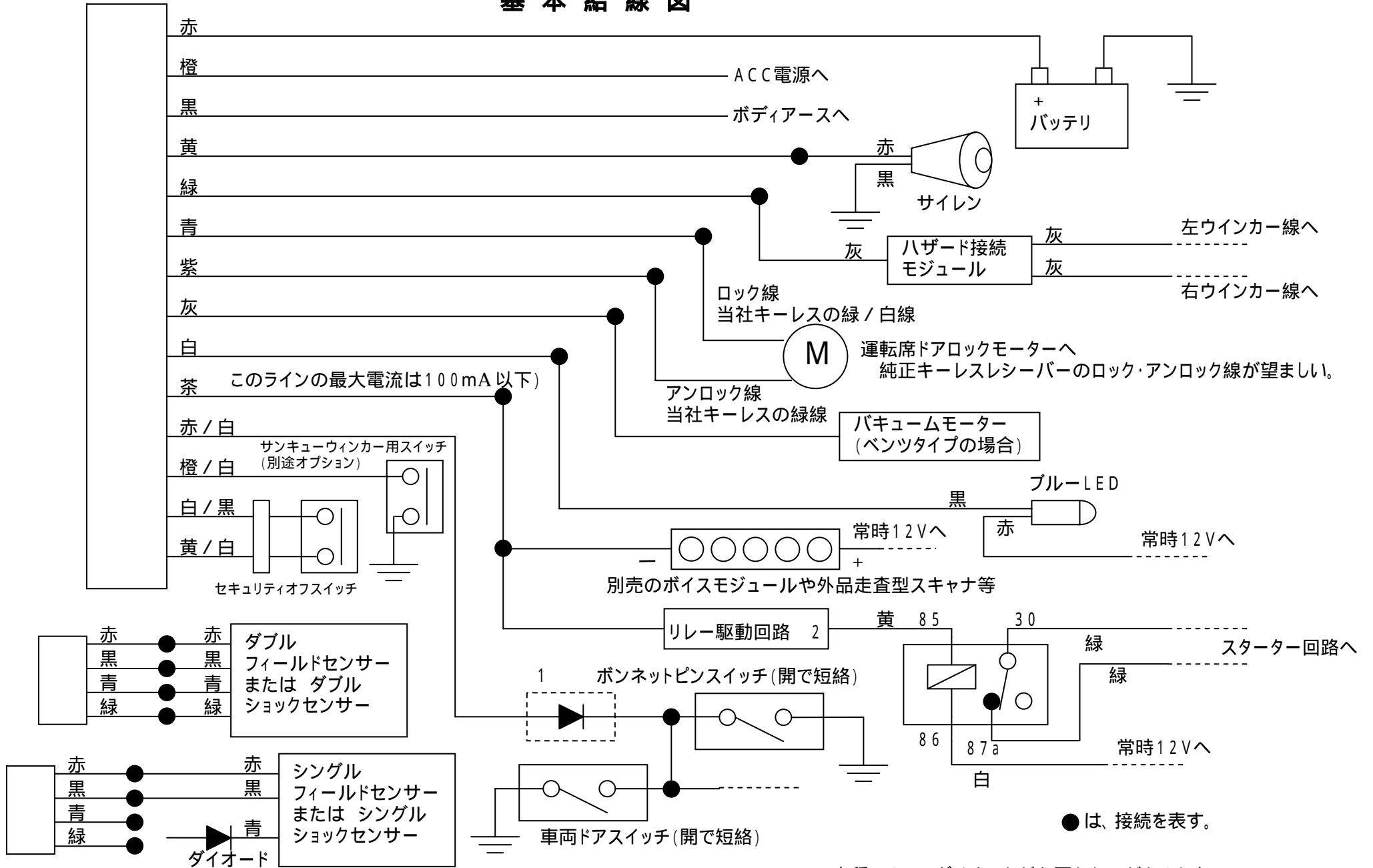
### 4. セキュリティ監視中にバッテリーを外された場合について(Ver1.1から適用)

- (1)ロックしてセキュリティ監視中にバッテリーをはずされ、その後バッテリーを接続した場合、再び監視中が継続されます。また、警報中にバッテリーを外され、その後バッテリーを接続した場合、再び警報が30秒間行われます。これにより、セキュリティ解除の目的でバッテリーを外しても、監視が中断されることがありません。また、別売のバックアップサイレンをつなげば、バッテリーをはずしてもサイレンは鳴り続け、より厳重に車両を守ることが可能です。

### 5. 緊急回避方法について(サイレンが鳴りっぱなしで止まらない等の対処方法)

- 万一本装置が誤動作もしくは警告しているときにリモコンが効かなくなった場合、赤線の途中のヒューズを抜いて下さい。ヒューズの部分を運転席のカーペットの下等に隠しておかれることをお勧めいたします。

# 基本結線図



センサーの青線を緑につなげば警告、青につなげばサイレン音になります。  
 シングルセンサーの信号線は必ず付属のダイオードを通して接続して下さい。  
 ダイオードの鉢巻き印が必ずセンサー側です。注意して下さい。  
**配線するときは必ず14ピンのコネクターを抜いて作業してください。**

- 1 車種によってダイオードが必要なものがあります。
- 2 付属のスターターカットリレーと接続するためには、その駆動回路が必要です。**付属のリレーの消費電流は約 150mAです。長期間エンジンをかけないとバッテリーが上がる危険があります。**